

2024年

辰

新春所感

## 「職住近接」による 持続可能なまちづくり

湖西市長 影山剛士氏



皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

令和5年は、新型コロナウイルスが第5類感染症に移行し、市内各所で行われたイベントや秋祭りでは多くの笑顔があふれ、賑わいが戻ってきました。一方、人口減少対策など地域の課題も山積しており、これからも持続可能な発展を続けるために、市外からの通勤者が多い事による昼夜間人口の差を解消すべく『職住近接』をキーワードに「働くまち」から「働いて暮らすまち」を目指しています。

○湖西バッテリーパーク・バッテリーロードの開通

まちづくりの発展に欠く事ができない、また、広域避難経路としても重要な幹線道路の大倉戸茶屋松線（通称・バッテリーロード）が開通しました。その周辺にBEV（バッテリーEV）の一大生産拠点、カーボンニュートラル発

祥の地として整備が進められている「湖西バッテリーパーク」のほか、新たな工場用地の確保に向けた開発可能性調査を実施するなど、今後土地活用を一体的に推進し、新たな物流・人流・交流の軸として地域の活性化につなげていきます。

○浜名湖パークビレッジがオープン

今春に本格オープンする浜名湖パークビレッジの整備が着々と進められており、浜名湖花博2024と合わせ、浜名湖のポテンシャルを活かした賑わいの拠点づくりを進めてまいります。また、県内養豚飼育頭数NO1の本市ならではの取組みとして、自慢の豚肉を提供する湖西ご当地グルメプロジェクト「P-1」フェアの開催や、湖西市公式キャラクター「うなぼん」、SNSなどにより本市の魅力を発信してまいります。

○少子化への対策

安心して子どもを産み、育てられるようライフステージに応じた支援の強化のため、多子世帯への支援拡充、不妊治療における保険適用外医療費の助成などに取組んでいきます。更には、マッチングアプリ「ペアーズ」を活用し、

市内在住・在勤者の出会いの機会を創出させ、少子化・人口減少対策の推進を図っていきます。

○DX推進、水道スマートメーターを全世帯へ

市民生活では、水道事業においてスマートメーターを活用し、全国初の「時間帯別料金」の導入に向けた実証実験を進め、令和9年度までにスマートメーターを市内全世帯に拡大し、検針時間の短縮や漏水判定の向上、検針票の電子化、産学官が連携したビッグデータ活用によるフレイル予防など、DXを活用した市民サービスの向上を図っていきます。

○モノづくり人材育成、脱炭素、公共交通

自動車産業を中心とするモノづくりのまちの本市においては、引き続きモノづくり人材育成や産業ネットワークの推進、カーボンニュートラルへの対応は喫緊の課題であり、CO2排出量の見える化や省エネ設備投資への利子補給を推進してまいります。

また、観光地などでのインバウンド需要の回復、高齢化に伴うドライバードライバー不足など、「移動の足」の確保等の課題に対し、地域の足としての手段・選択肢を増加させられるよう、市民生活の利便性の向上に向けて、広域連携して取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとつて輝かしい一年となります事を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。